

令和3年度第6回人間文化研究機構経営協議会 議事概要

- 日 時： 令和4年3月16日（水） 14：00～15：56
- 場 所： Web会議システム「Zoom」
- 出席者： 青山、井上、大原、岸上、小松、佐村、サーラ、田窪、武田、永村、西谷、長谷川、長谷山、平川、広渡、藤岡、宮崎、望月、山極、山本、李、渡部の各委員
- 陪席者： 小泉、二ノ宮の各監事、平井民博副館長
- 事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研、地球研及び民博の各管理部長、本部事務局の総務課長、企画課長、財務課長、施設課長、企画課課長補佐、財務課課長補佐、その他関係職員

○ 概 要：

議事に先立ち、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認等があった。

議 題：

(議事概要)

(1) 令和3年度第3回議事概要について（資料1）

機構長から、令和3年度第3回議事概要について報告があった。

(2) 令和3年度第4回（書面審議）審議結果について（資料1）

機構長から、令和3年度第4回（書面審議）の審議結果について報告があった。

(2) 令和3年度第5回（書面審議）審議結果について（資料1）

機構長から、令和3年度第5回（書面審議）の審議結果及び、文部科学省に業務方法書の変更について申請を行い認可された旨について報告があった。

(審議事項)

(1) 第4期に向けた組織規程等の改正等について（資料2）

青山理事から、資料2に基づき、第4期に向けた組織規程等の改正等について説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 令和4年度人間文化研究機構予算編成方針について（資料3）

青山理事から、資料3に基づき、令和4年度人間文化研究機構予算編成方針について説明があり、審議の結果、了承された。また、本件に関し、以下の確認及び意見があった。

- ・ 本会議の資料を外部で公開・引用することの可否について教えてほしい。

⇒ 会議後に、事務局より改めて回答する。

- ・ 成果を中心とする実績状況に基づく配分の共通指標に、寄附金等の経営資金獲得実績や受託・共同研究受入額といった項目があるが、理系と文系では性格が異なる。大学共同利用機関法人や国立大学法人は、自主・自律的な運営をするように政府から求められているが、評価も多様な基準によって行われるべきであり、それぞれの機関の個性・特色ある活動に対してインセンティブを個別につけること等について、各法人と足並みをそろえて提言、要望していく必要がある。

⇒ 人文系独自の評価方法の提示は、文科省からも求められている。昨年11月に日本学術会議から、研究評価に関する提言が提出されたが、それと連動する形で、機構としても独自の大学共同利用機関法人としての指標、評価の基準を提示する予定でいる。

- ・ 若手研究者比率の項目等については、国立大学の人文社会系の学部と比較して算出した偏差値をもとに、4機構間での比較をしているとの説明があったが、機構の若手研究者比率は国立大学の人文社会系の学部と比較しても低いということか。

⇒ 記載の偏差値のとおり、低い結果になっている。大学共同利用機関は、大学等の研究機関との共同研究で成り立っており、幅広い研究者を十分に率いていく能力を求められるため、すぐに若手に切り替えるのは難しいという背景もある。

(3) 令和4年度資金管理計画について（資料4）

青山理事から、資料4に基づき、令和4年度資金管理計画について説明があり、審議の結果、了承された。

(報告事項)

(1) 人事院勧告等に伴う給与改正について

青山理事から、人事院勧告に伴う給与改正については、国会で審議されている一般職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案の成立後、本年6月分の賞与から対応する予定である旨の報告があった。

(2) 国立大学法人法の改正に伴う関係規程等の改正について(資料5)

青山理事から、資料5に基づき、国立大学法人法の改正に伴う関係規程等の改正について報告があった。

(3) 第4期中期目標・中期計画について(資料6)

岸上理事から、資料6に基づき、第4期中期目標・中期計画について報告があった。

(4) 人文系研究評価システムの検討状況について(資料7)

岸上理事から、資料7に基づき、人文系研究評価システムの検討状況について報告があった。また、本件に関し、以下の意見があった。

- ・ 人文系の評価に関しては、より広く社会的な理解を求めることが必要であり、アカデミアの外からの視点も加えてほしい。また、アカデミアの外の理解を求め、世論をつくるために、エグゼクティブサマリーを作成する等、わかりやすい形で発信をしてほしい。
- ⇒ 第4次案では、提言の構成をより分かりやすい形に改善している。また、アカデミア外からのレビューについては、次期執行部に引き継ぎ、検討したい。

(5) 総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について(資料8)

岸上理事から、資料8に基づき、総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について報告があった。また、永村理事から、歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業について補足説明があった。

(6) 総合情報発信センターにおける実施事業について(資料9)

永村理事から、資料9に基づき、総合情報発信センターにおける実施事業について報告があった。また、大原委員から、人文知応援フォーラムの共同代表として、人文知応援大会の開催について補足説明があった。続けて、青山理事から、博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業について補足説明があった。

(7) 人間文化研究機構理事就任予定者について(資料10)

機構長から、資料10に基づき、令和4年度からの理事就任予定者について報告があった。

(8) 人間文化研究機構経営協議会委員について(資料11)

機構長から、資料11に基づき、令和4年度からの経営協議会委員就任予定者について報告があった。

以上